

SNSトラブルを成功に 変える取り組み

トラブルが顕在化する特徴を踏まえる

大阪暁光高等学校
北辻 研人



はじめに

- SNS 継続的に中長期に指導が必要
- 自らの考えや思いを深めることができるツール
- フェイクニュースを学ぶ
- SNS 指導の取り組みから見えるトラブルが顕在化する生徒の特長
- トラブルを成功に変える取り組み



これまでの取り組み

- 情報科の授業だけではSNSへの使い方やトラブル回避等の指導を行うには十分な時間は取れない
⇒中長期的に継続して授業等を展開(HRで実施)
- 「危険だから」「トラブルにつながる投稿はやめる」など禁止ばかりの内容ではないものを

⇒⇒ SNSは、自分の意見を述べることで、
考えや思いを深めることができるツール
にするという**意識改革**を行う！

ホスピスを題材にして



- ホスピスを題材とした動画を見せた。
 - ▶ 動画を観ながらチャプターごとに、動画を止め、**意見や感想をSNS(Edmodo)に投稿**させる
 - ▶ 動画を観ながら**他者の意見に影響**されたり**新たな気づき**を増やし、**意見や考えを深める**
 - ▶ 動画を観終わる頃には**他者と意見交換**ができ**時間短縮**となる ⇒ **自分の意見や感想を紙に書き提出**

「ホスピスを学ぶ」リアルタイムで意見や感想を共有し深める

2017.06.07 特別活動



投稿者
大阪府 大阪暁光高等学校 看護科
2年生 北辻研人さん

対象
中学・高校

なるほど!

このすくレポを評価する

NHK for School

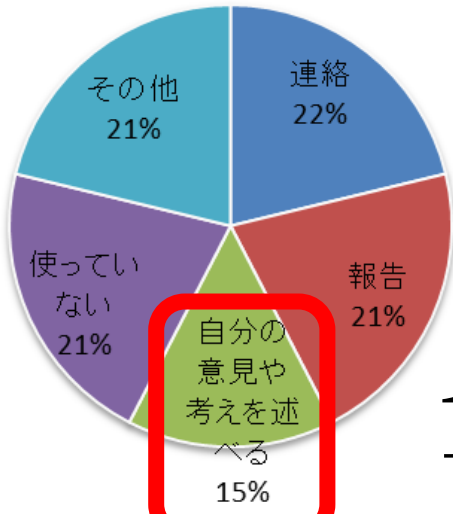


NHK for School アワード
「すくレポ」に掲載

活動のPR

5月

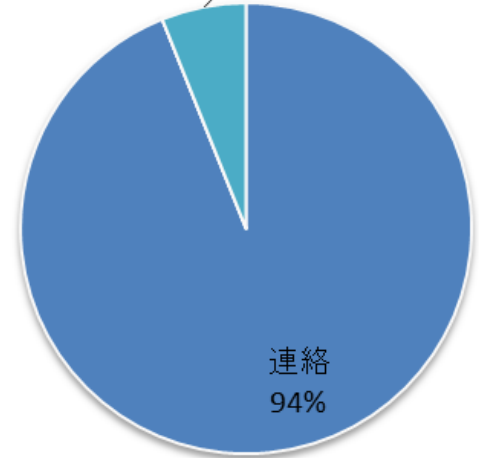
ツイッター



15%

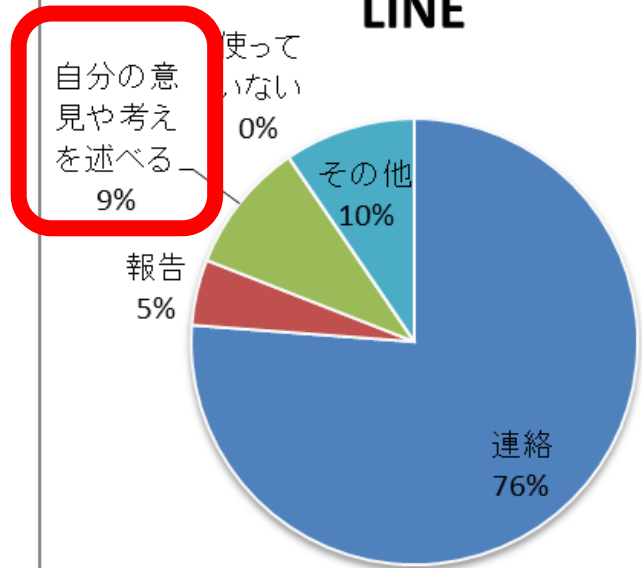
0%

LINE



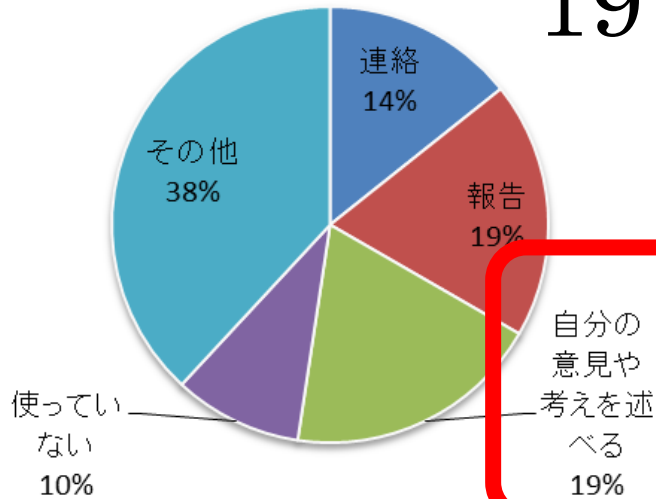
9%

LINE



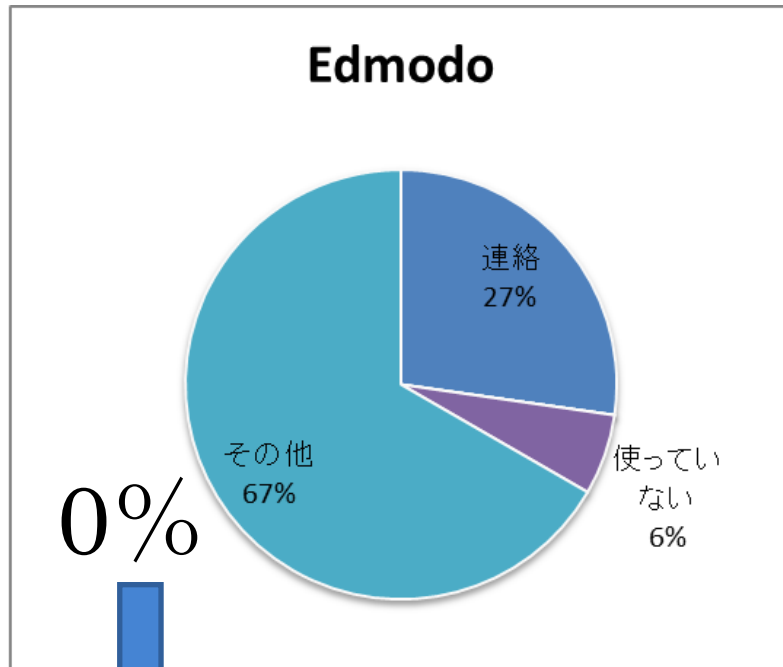
6月

ツイッター



19%

5月

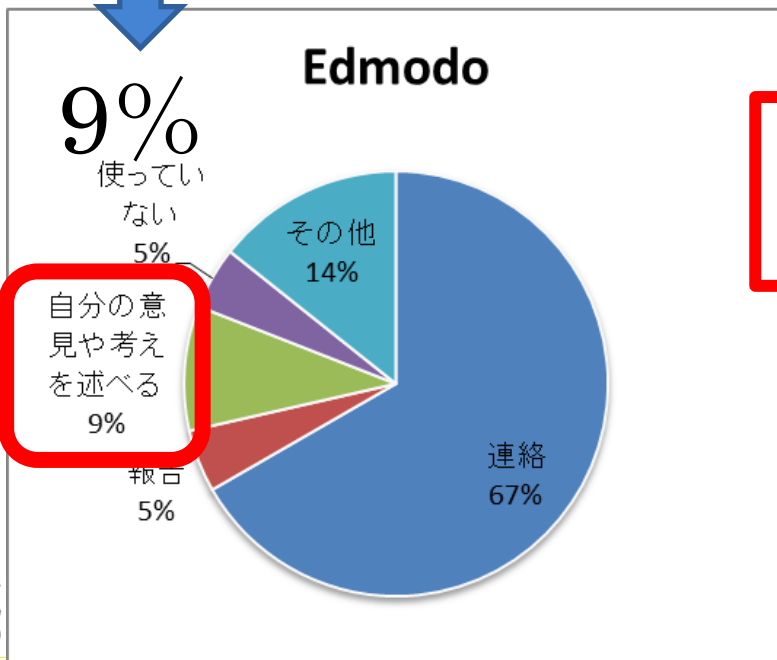


○ ツイッター・ライン・Edmodo
において**変化**が起きた。

○ SNSの使い方を示し、実際に
授業で**継続的**に使っていくこと
で、

「**自分の意見や考えを述べる**」
ために使うツールであるという
認識を持つ生徒が出て来た。

6月



**この期間（1学期間）を通して
SNSトラブルはない**



その後

- 看護科2年 臨地実習等の関係で1学期間のみの取り組み
⇒11月頃 1月頃 SNS上に不適切投稿

課題

- 継続指導の必要性
- 投稿に対して、投稿後の反応を想像する
- 相手のことを想像する



SNSトラブルを成功に変える取り組み

トラブルが顕在化する特徴を踏まえる

- **フェイクニュースを学ぶ**
2019年度 高校1年
進学総合コース
担任クラス 34名
(男子14名 女子20名)
- **SNSに関しては、高校入学までに中学校等で一定の指導は受けている**

大阪暁光高等学校4つの学科コース！



意図

- **フェイクニュースをどのように捉え、対応するかのリテラシーを付ける。その過程でどのように認識しているのか調査し、認識具合をみて展開し、トラブルを未然に防いでいきたい。**

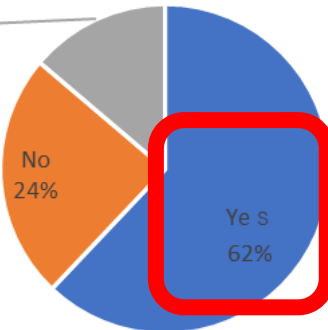


生徒の実態を知る

○ 2019年4月 アンケート結果

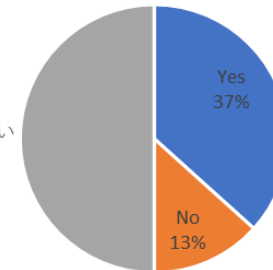
フェイクニュースという言葉を知っていましたか？

聞いたことはあ
るけど詳しくは
分からない
14%



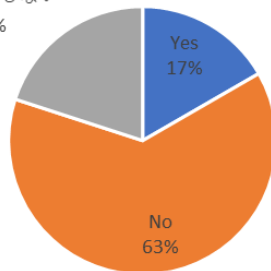
友達からSNSなどで発信された情報を信じてしまう方ですか？

どちらでもない
50%



自分からいたずらで間違っ
た情報を送ったこと
はありますか？

どちらでもない
20%

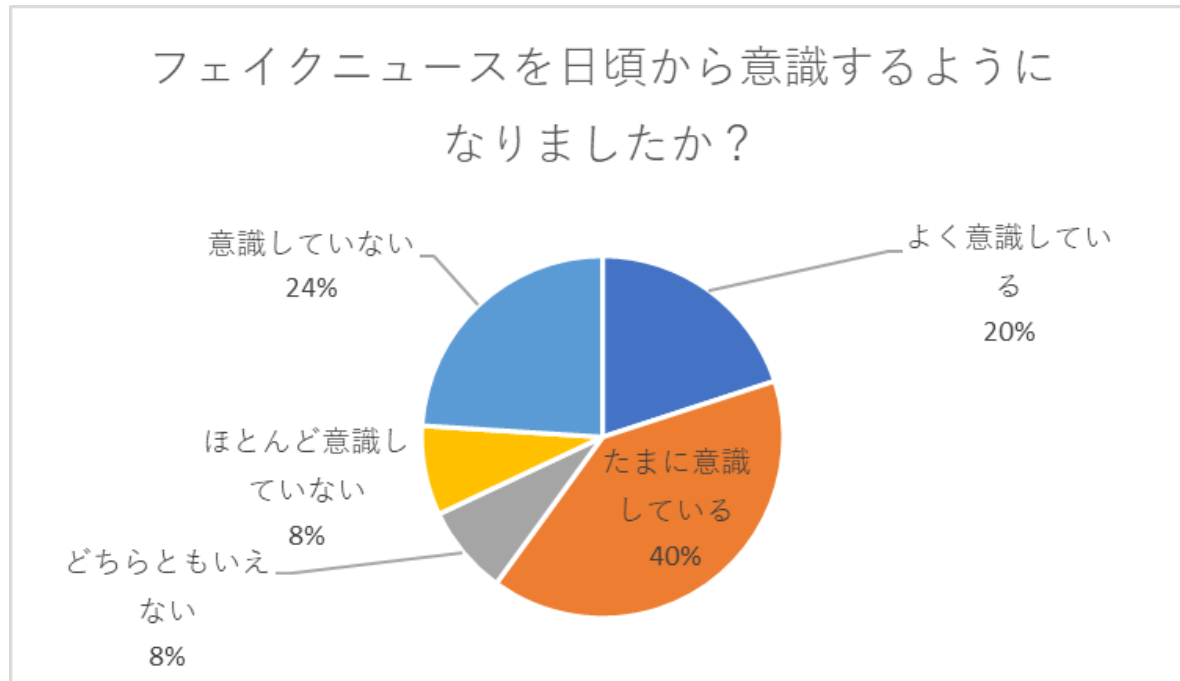


「どちらでもない」
⇒「不安」や「自信がない」
の表れ？



フェイクニュースへの関心

- 1学期間を通して継続してフェイクニュースについて、主に動画教材を使用してきた。
- 7月のアンケート結果

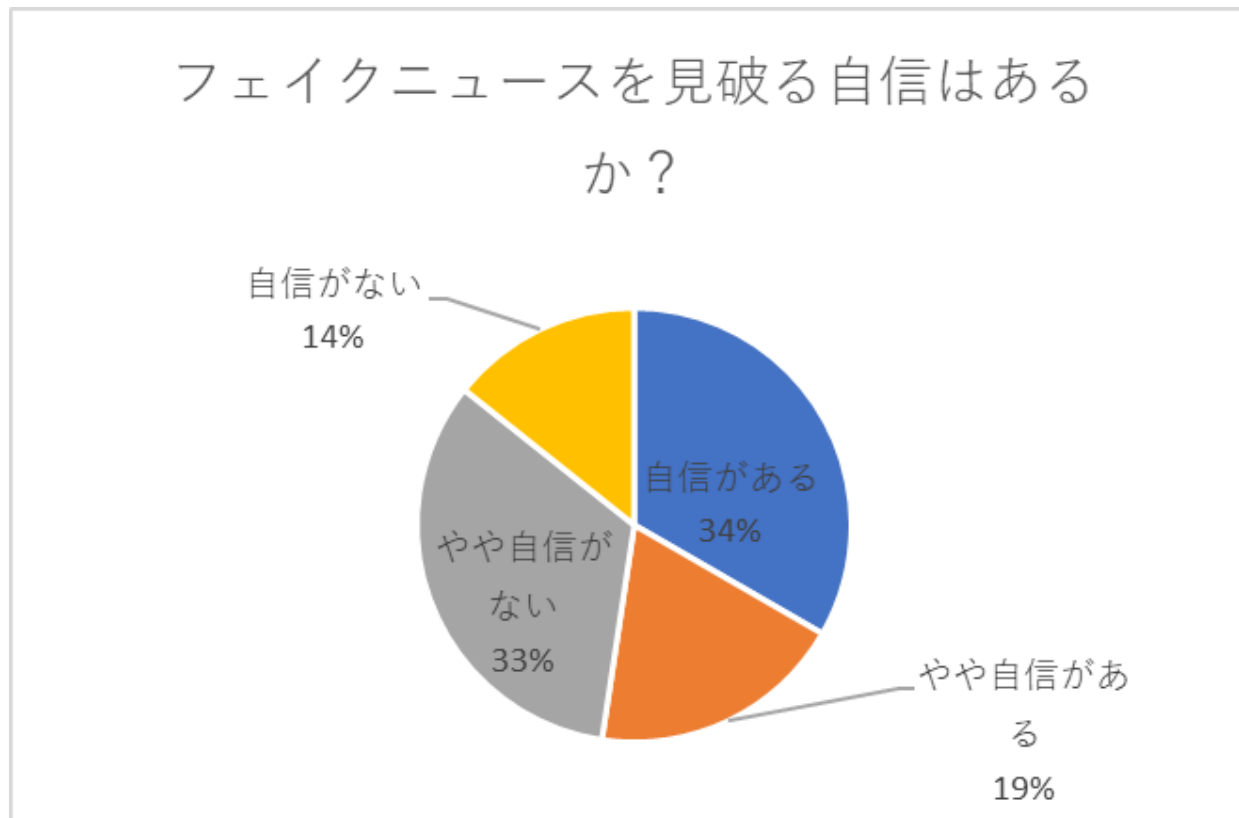


フェイクニュースを知っていた生徒の割合と同程度の生徒が、使い方について意識がある。



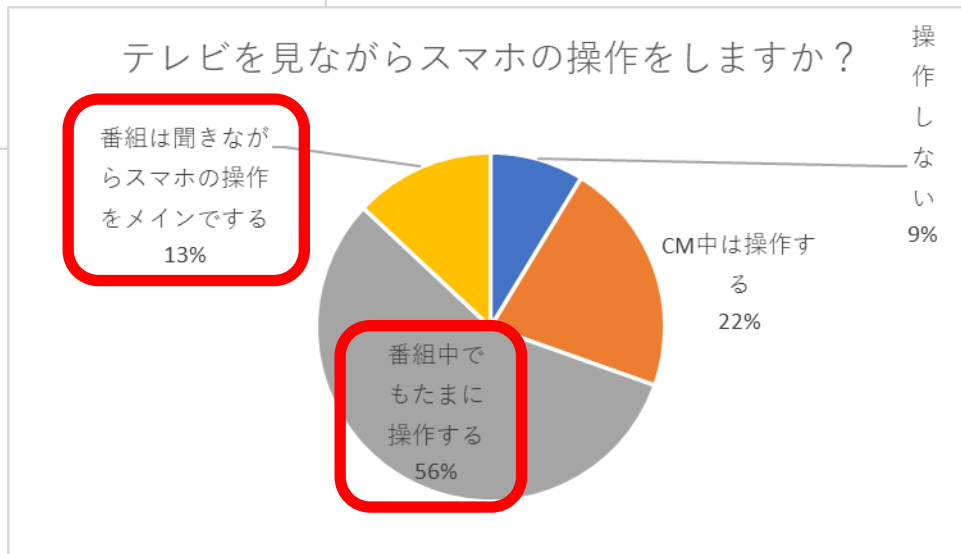
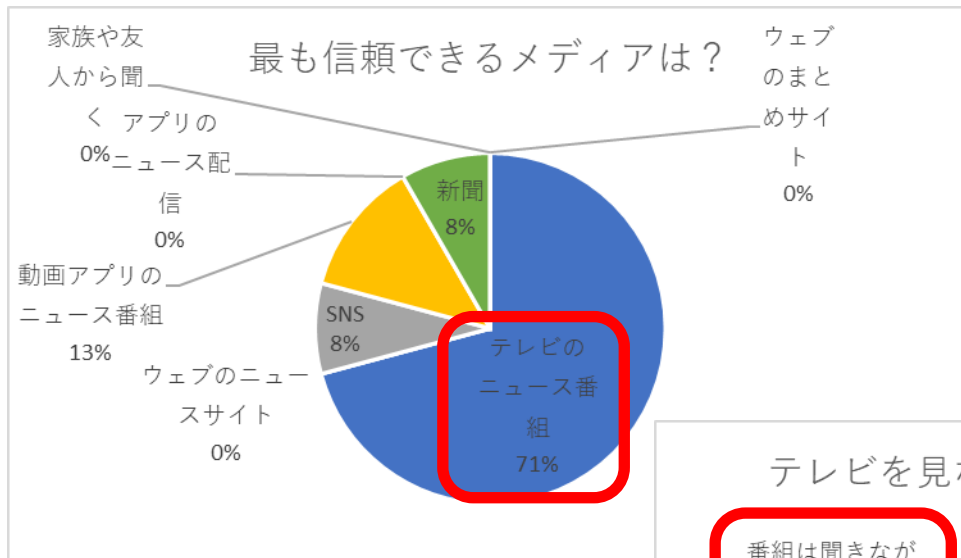
フェイクニュースへの対応

○ 見破る自信について(7月調査)



フェイクニュースを見破るために

○ 家庭でのながらスマホについて考察



MMD 研究所

2019年 6月 ニュースに関する年代別調査 アンケート項目

フェイクニュースを見破るために

- これまでのアンケートデータをもとにクラスの代表生徒で、統計グラフコンクールに挑戦！



フェイクニュースに騙されない



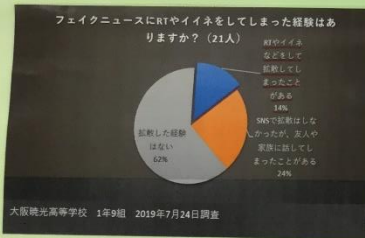
Fake News



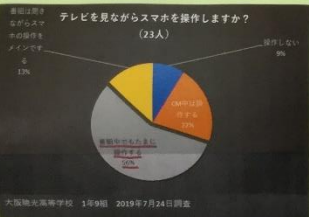
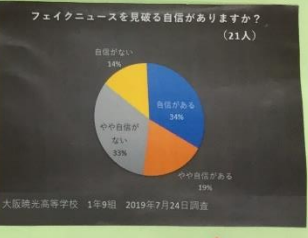
大阪府立大東高校1年9組でフェイクニュースについて考えました。
 フェイクニュースに騙された経験があるのは、全国と比較すると少ないです。これは騙されていること自体に気付いていない人がいるのではないかと思います。また、全国の年代別では、騙されている人が20代が一番多く騙される人を減らすためには、10代で高校生の私達加学んで気を付ける事が大事だと思います。



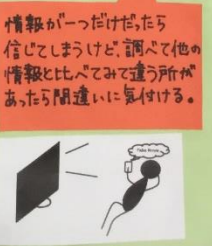
フェイクニュースを知っていたのは割合が5割以下。言葉は知っていて詳しく知らない人もいた。
 「友達からSNSなどで発信された情報を信じてしまう方が多い」に対して「5割以下」が半数。この間違った情報を知っているニュースと知らないニュースがあって調べて分かるものがある、と判断して送ってしまうことがあるのだと思う。
 いざ知らずで送った人も少しはいるので気を付けなければならぬ。



おもしろいかおもしろくないかでイイネやRTをする人が多くなり、簡単に出来るが拡散した人が増えていると考えられる。



スマホとテレビの両立は出来ないし目に入ったちよとのニュースで信じてしまう人がいる。
 学校より家でテレビを見る時に一番SNS等でフェイクニュースに出会うことが多いと思うのでこの時に気を付けていくことが騙されない対策の1つになる。



NHK for School アワード すくレポ 「フェイクニュースを学び、 統計グラフコンクールに挑戦」

フェイクニュースを学び、統計グラフコンクールに挑戦！！

すくレポを見る | すくレポを送る

NHK for School アワード 2020



投稿者
 大阪府 大阪府立大東高等学校 1年 北辻研人さん

対象
 小4、小5、小6、中学・高校

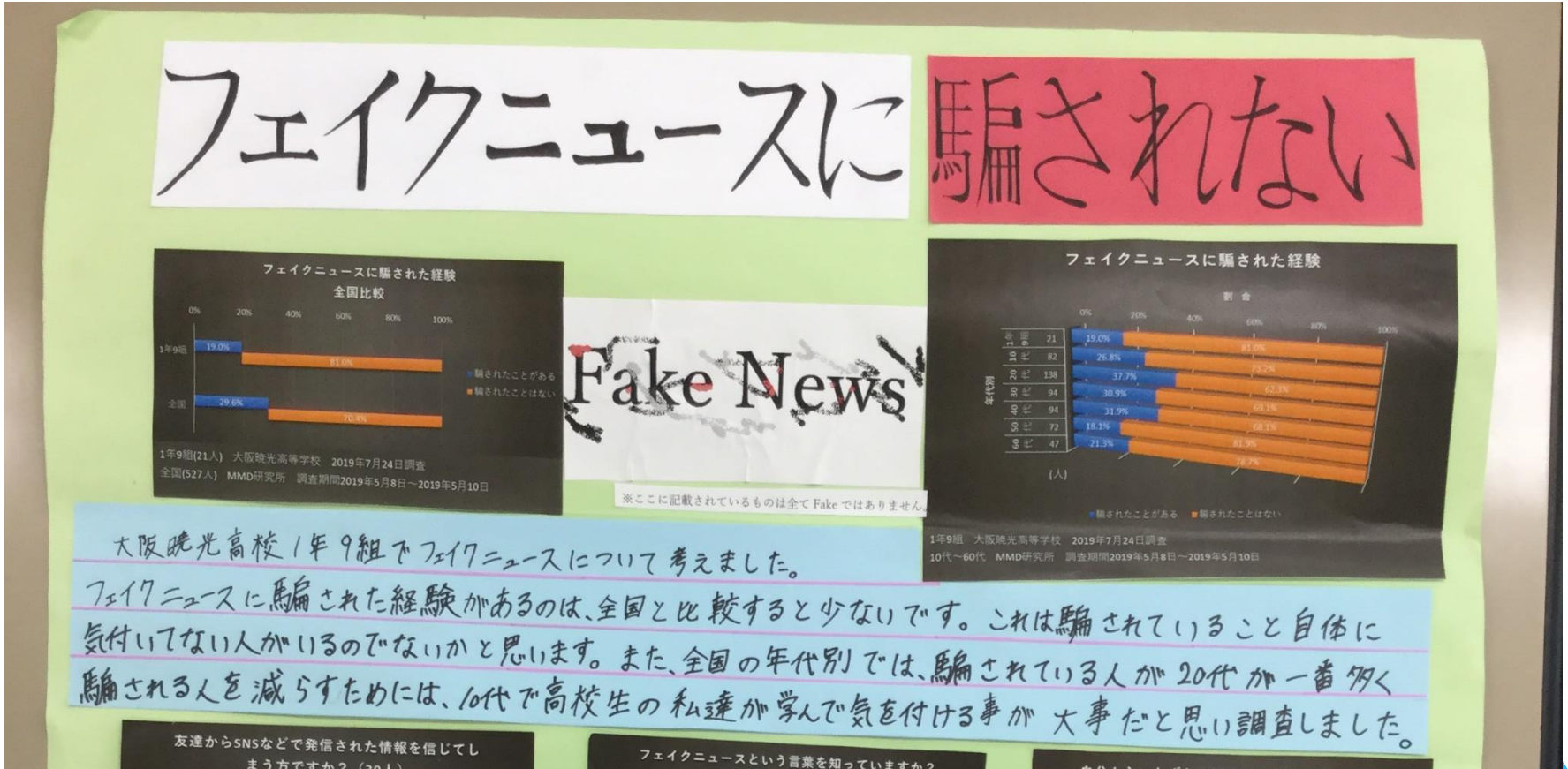
なるほど！

このすくレポを評価する

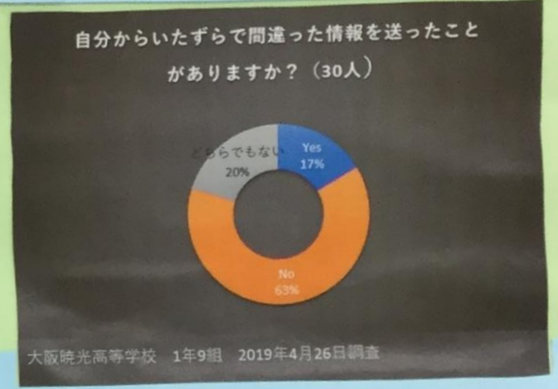
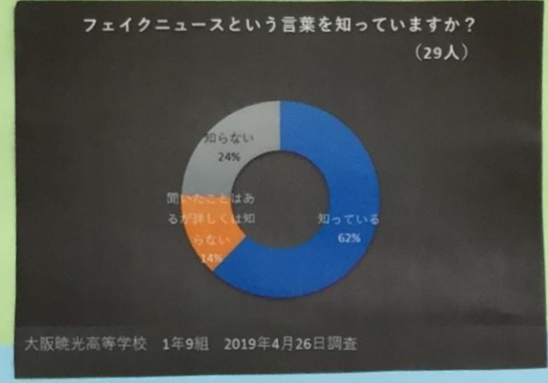
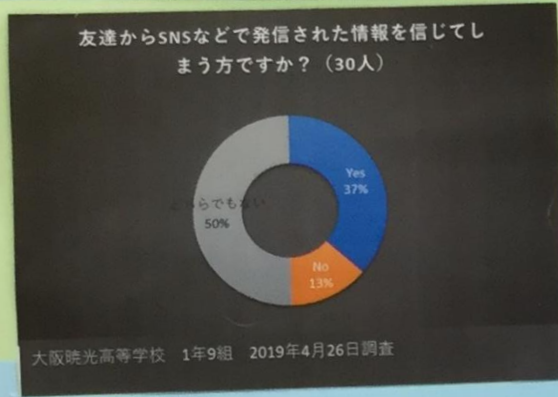


統計グラフコンクール

○ まとめた結果をを2学期最初のHRにて報告



「友達からSNSなどで発信された情報を信じてしまう方ですか?」に対して「セーフでない」が半数。これは、間違えた情報だと知っているニュースと知らないニュース



「フェイクニュースを知っていたのは7割5分以下。言葉だけ知っていて詳しく知らない人もいた。」

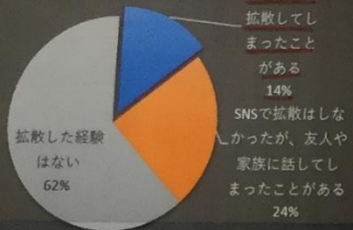
「友達からSNSなどで発信された情報を信じてしまう方ですか?」に対して「セーフでない」が半数。これは、間違えた情報だと知っているニュースと知らないニュース

があって調べて分かるものがある、と判断に迷ってしまうことがあるのだと思う。

いわずらで送った人も少しはいるので「気を付けなければ」ならない。



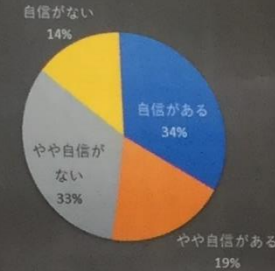
フェイクニュースにRTやイネをしてしまった経験はありますか？ (21人)



大阪暁光高等学校 1年9組 2019年7月24日調査

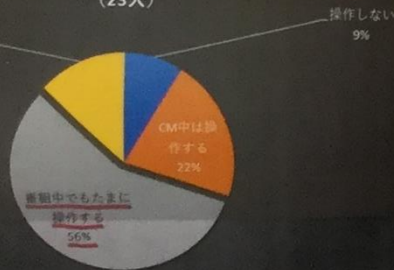
おもしろいかおもしろくないかでイネやRTをする人が多かたり、簡単に出来るから拡散した人が増えていると考えられる。

フェイクニュースを見破る自信がありますか？ (21人)



大阪暁光高等学校 1年9組 2019年7月24日調査

番組は聞きながらスマホの操作をメインにする (23人)



大阪暁光高等学校 1年9組 2019年7月24日調査

スマホとテレビの両立は出来ないし目に入ったちょっとのニュースで信じてしまう人がいる。

学校より家庭でテレビを見る時に一番SNS等でフェイクニュースに出会うことが多いと思うので、この時に気を付けていくことが騙されない対策の1つになる!!

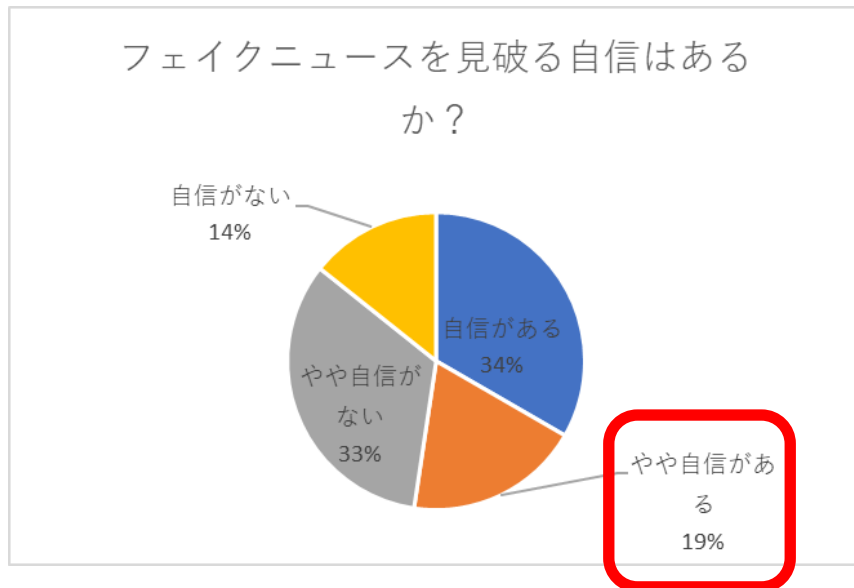
情報が一つだけだったら信じてしまうけど、調べて他の情報と比べてみて違う所があったら間違いに気付ける。



取り組みによる変化

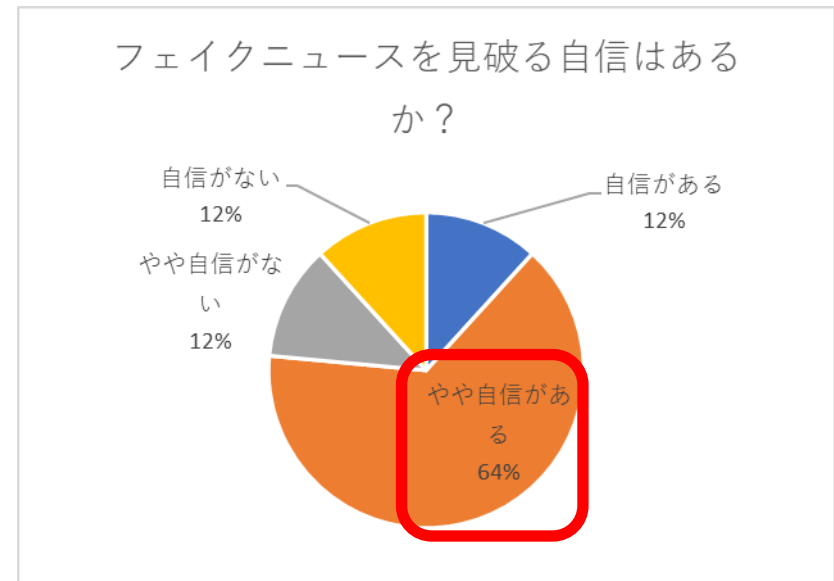
- その後も継続してフェイクニュースに限らず SNS関係の内容を学び続けた。そして変化がでた。

- 見破る自信があるか
7月



「やや自信がある」⇒増加
フェイクに警戒をしながらも、
フェイクかどうかを判断する力が付いてきた表れ

- 見破る自信があるか
11月



1年間の継続した取り組み

- 継続して常にSNSについて意識させた
- 頻度について
 - 1学期 月2~3回程度
 - 2学期以降 月1回程度
 - (学校行事の関係で、取り組めない月アリ)
- 生徒の反応
 - ⇒ワークシートへの記入には、**深く多面的にとらえられ**る生徒が増えてきた。
- 結果：SNSトラブルは4月を除いては年間通じて起きなかった。
 - ① SNSに起因するもの
 - ② 対面でのトラブルからSNSで再燃するもの



SNSのトラブル事例から生徒をみる

- **トラブルは起こる**
顕在化するかしないかの問題
- **顕在化しない**
⇒トラブっても生徒同士で解決できる
- **顕在化する**
⇒トラブったら教員が入って解決の援助をする

トラブる生徒に足りないものは？

認知力

相手がどう思うかの想像力
それを投稿したらどうなるかの想像力



SNSのトラブル 成功に変える取り組み

具体的なトレーニングとして

- コグトレ (Cognitive OO Training)
- 本校の学ぶ文化祭 (人物の心理描写)
- 日々の勉強

- その他

SNSへの投稿が原因でトラブルとなった。保健室登校中に保健室に来る生徒同士の関わりの中で、悪いコミュニケーションを認識させ改善していく。



おわりに

トラブルをさけるために

- 継続したSNS関係の学びの重要性
- SNSトラブルは常に起きている
- 相手を想像する力を育てる(コグトレなど)

課題

- 系統的な構成
- クラス⇒コースや学年 ⇒学校全体
へ広げるために



参考文献等

- 2019年6月 ニュースに関する意識調査, MMD研究所
- ケーキの切れない非行少年たち, 宮口 幸治, 新潮新社
2019年7月
- 1日5分!教室で使えるコグトレ: 困っている子どもを支援する認知トレーニング122, 宮口 幸治, 東洋館出版社, 2016年10月

今年度の活動



フェイクニュース 罰するべきか? 罰さないべきか?

2020.08.06 総合学習

投稿者
大阪府 大阪暁光高等学校 北社研 人さん

対象
小4、小5、小6、中学・高校

なるほど!
★

このすくしを評価する ▶

活動PR

本校2年教育探究コースにて「コロナと私」という課題で今思うことを書かせた。臨時休校中に起きたことや考えたことなど向き合ったことを自由に書かせ、今何を学びたいかを上げさせた。SNS関係のことや医療のことを学びたいという声が上がった。

NHK for School



ご清聴ありがとうございました。

大阪暁光高等学校

北辻 研人(きたつじ きよと)

kitatsuji@osakagyoko.ed.jp

是非、忌憚のないご意見・ご感想・コメントを
お寄せください。
よろしく申し上げます。

<https://forms.gle/gJ6F2naBsFFVtHvf6>

